

総 括

谷田部雅嗣

NHK 解説委員

第 2 部パネルディスカッションに入らせていただきます。このパネルディスカッションでは“環境ホルモン 21 世紀・開かれたアプローチをめざして”と題して、さまざまな分野の専門家がそれぞれの見地から、内分泌攪乱化学物質問題の解決に向けた議論を行います。それでは、早速始めさせていただきたいと思います。解説委員というのはいったいどういう仕事なのか。普通新聞社ですと、論説委員あるいは編集委員ということで、わりとはっきりしているのですが、解説というのはいったい何をやるのだというようなことが、ときどき話題になったりするので。公共的な電波を使って放送している以上、自分の意見を言うてはいけないのではないかとということで、解説委員ということになるんだそうなのですが、実際、私は科学分野を担当していますので、本当に説明しなければいけないことがたくさんあります。その説明したことをわかってもらうために、時間の大半が使われて、意見を言う間がないというのが、いつもの仕事です。

そういった意味でいきますと、今のこの環境ホルモンも、やはりわからなさということが非常に大きな位置を占めています。そのわからなさをどうやって扱っていけばいいのかということで、行政の立場の方も、あるいは実際にそれを研究している方も、そして一般市民の方も、とらえどころがどこにあるのかと、少し不安に感じたりするような部分もあったりすると思います。

そういったことをテーマに、今日はそのわからなさをどうやって扱っていくのかということ、ご講演をいただいたり、ディスカッションをしたりして深めていきたいと思います。

大変残念なのですが、パネリストの一人として、写真家の大石芳野さんをお招きしていたのですが、体調を崩されたということでご欠席ということで、メンバーは男性だけになってしまいました。環境ホルモンですから、ぜひ女性もという部分もあったのですが、そういった意味でも大変残念でした。大石さんはご存じのように、ベトナム戦争や水俣病など、いろいろそういった化学物質における影響を、人間から見るとどう見えるのだろうということで、写真もたくさん撮ってこられましたし、ご意見としてもそういった面で期待していたのですが、残念ながらご欠席ということで、そのほかの方々をご紹介します。

まず私の側から、森千里さんです。千葉大学大学院の医学研究院環境生命医学教授ということで、環境ホルモン研究の第一人者で、パイオニアの第一人者です。先程もお話がありましたが、へその緒からいろいろな化学物質が検出できたことを最初に報告されたというようなことから研究が始まっているということで、よろしく願いいたします。

次は、河野一郎さんです。筑波大学体育科学系の教授です。ドーピングというのは、そろそろオリンピックも近いですから、皆さんも意識に少しあつたりするかもしれませんが。そのドーピングの日本の第一人者ということで、日本アンチドーピング機構の理事長もされています。そしてソウル、バルセロナ、アトランタと、懐かしいオリンピックですが、その日本選手団のチームドクターも務めていらっしゃいます。ドーピングとホルモンの関係について、後程ご講演をいただく予定です。

次は、東京大学大学院工学系教授の合原一幸さんです。皆さんも聞いたことはおありになると思いますが、理解している方は少ないのではないかと思います。“カオス工学”を世界で最初に提唱されたということで、そういうわからなさの典型のようなものだと思いますが、それをどうやって研究していくのかといった立場から、今日のご講演と討論に加わっていただくということでよろしく願いいたします。

それから皆さんはよくご存じだと思います。この「奪われし未来」の共著者であるジョン・ピーターソン・マイヤーズさんにもおいでいただきました。現在は環境保護や核戦争防止にも取り組むアルトン・ジョーンズ財団のディレクターを務めていらっしゃいます。

そしてお次はよくご存じの、解剖学がご専門の養老孟司さんです。私は NHK に勤めているのですが、NHK とも大変かわりが深くて、いろいろな番組にもご出演していただいたり、お知恵を拝借したりしているのです。NHK の教育テレビ、関東地方では 3 チャンネルですが、そこに出る講師の中で一番視聴率の取れる方と言われております。今日もそういった意味でも期待させていただきたいと思います。

最後は、このシンポジウムを主催しています環境省の環境保健部長、岩尾總一郎さんです。厚生省の厚生科学課長などを経て、2001年から現職でいらっしゃいます。後程、行政の立場から、このわからなさをどうとらえてどう取り組んでいこうとしているのか、というお話もしていただこうと思います。

まず、ご講演が“環境とドーピング”ということで、河野一郎さんからまずしていただきます。お一人15分ずつ、このあと合原さん、養老さんとお話をしていただいて、そのあと討論に移りたいと思いますので、よろしくをお願いします。